第4講　動詞の活用表と応用編

PART1　よく似た動詞（見る・見す・見ゆ）

〔例題一〕　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

目に<u>見ゆる</u>物も、…

★よく似た動詞

見る＝　　行　　活用
見す＝　　行　　活用
見ゆ＝　　行　　活用

〔例題二〕　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

① 鎧<u>着</u>て、…

② 竹の中に<u>おはする</u>にて、…

③　鳶（とび）ゐさせじとて…

問七　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

①　京童部（きやうわらんべ）どもといさかひをしけり。

②　聞き（a）はべる（b）に、…

a＝

b＝

③　やすらかなるこそ、心にくしと見ゆれ。

④　露の落つるに、…

⑤　人を遣りて見するに、…

⑥ かくまうで来たるなり。（傍線「まうで来」、記号 き）

⑦ 率て（a） 出でて（b） いぬ（c）。

a＝

b＝

c＝

⑧ それを 見れ（a）ば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうて 居（b）たり。

a＝

b＝

〈Memo〉

第4講　PART1　確認問題

① 傍線部の活用の種類と活用形として適切なものを、次の中から選べ。

「月のいみじう明き夜、端に居て見るほどに、…」

ア　上二段活用・終止形　　イ　上二段活用・連体形
ウ　上一段活用・終止形　　エ　上一段活用・連体形

② 傍線部と同じ活用をする動詞を、次の中から選べ。

「かぐや姫に見せたてまつりたまへ」

ア　射る　　イ　与ふ　　ウ　待つ　　エ　恥づ

③ 傍線部と活用の行と種類が同じ動詞を、次の中から選べ。

「この国に見えぬ玉の枝なり。…」

ア　似る　　イ　心得　　ウ　燃ゆ　　エ　報ゆ

④　活用の種類が他の三つと異なる動詞を、次の中から選べ。

ア　植(う)う　　イ　居る　　ウ　射る　　エ　率る

⑤　傍線部の活用の行・種類・活用形として適切なものを、次の中から選べ。

「萱草(くわんざう)の袴(はかま)など着たるもをかしき姿なり」

ア　カ行四段活用・終止形
イ　カ行上一段活用・連用形
ウ　カ行上二段活用・已然形
エ　カ行変格活用・連用形

第4講　PART1　解答

〔例題一〕ヤ行下二段活用・連体形

〔例題二〕①　カ行上一段活用・連用形
②　サ行変格活用・連体形
③　ワ行上一段活用・（未然形）

問七
①　サ行変格活用・連用形
②　a　カ行四段活用・連用形　b　ラ行変格活用・連体形
③　ヤ行下二段活用・已然形
④　タ行上二段活用・連体形
⑤　サ行下二段活用・連体形
⑥　カ行変格活用・連用形
⑦　a　ワ行上一段活用・連用形　b　ダ行下二段活用・連用形　c　ナ行変格活用・終止形
⑧　a　マ行上一段活用・已然形　b　ワ行上一段活用・連用形

第4講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 「見る」はマ行上一段活用。下に体言があるので連体形。

② 「見せ」はサ行下二段活用動詞「見す」の連用形。「与ふ」はハ行下二段活用。

③ 「見え」はヤ行下二段活用動詞「見ゆ」の未然形。「燃ゆ」がヤ行下二段活用。「報ゆ」はヤ行上二段活用。

④ 「植(う)う」は下二段活用。他は上一段活用。

⑤ 「着る」はカ行上一段活用。下に「たる（『たり』の連体形）」がついているので連用形。

〔解答〕

① エ　② イ　③ ウ　④ ア　⑤ イ